

## 「江戸城」

城マニアという人がいる。日本各地の城をめぐる歩く。どの城も観光地となっており、最も有名なのは姫路城。現存する城の中で最も美しい城とも言われる。城はその土地のシンボルのようなものだ。大都市で言えば大阪城や名古屋城は有名、でも江戸幕府のあった江戸、東京には城がない。正確には城の石垣はあるものの天守閣がない。そこにはこんな歴史がある。

明暦3年、1657年1月18日から20日にかけて起きた大火は、江戸の町を壊滅状態にした。江戸城天守閣が焼け落ちたほか、多数の大名屋敷、市街地の大半が焼失するなど、都市部の約6割が焼失したといわれている。死者の数も諸説あるが、3万人から10万人といわれている。当時の江戸の人口が約30万人だから、いかにその被害が大きかったかがわかる。

この危機の中で復興にあたったのが会津藩主の保科正之。二代将軍の徳川秀忠の子で、将軍・徳川家綱を支えるナンバー2である。保科は幕府の御金蔵に蓄えられた金を惜しみなく使い、被災者の救済に力を注いだ。焼失した江戸城天守の再建をめぐっては、工事の中止を進言した。財源が不足していたことと、それにより江戸の町の復興が遅れること。そして、天守閣の必要性がなくなったこと。天守閣は、城主の軍事力や権力を象徴する。しかし、当時の日本は、徳川幕府の世であり、すでに戦はなく、将軍があえて軍事力を見せつける必要もない。結局、江戸城は江戸時代に再建されることはなくなり、今に至る。現在、江戸城の石垣は皇居東御苑内にあり、公開されている。

天守閣を建てなかった分、江戸の町は大きく姿を変えた。防災を重視した町づくりが始まり、大名たちの屋敷や寺社を郊外へ移転。延焼を防ぐために、空き地や広小路と呼ばれる大きな通りを設けた。当初は町外れであった本所や深川が開発され、隅田川に両国橋が架けられたのもこの時だった。東京がここまでの大都市になったのは、江戸城の天守閣を建てなかったおかげかもしれない。

1月20日 校長 鈴木 幸雄

◆問題 異なる二つの正の整数があります。どちらも2桁の数で、その和は114です。また、一方の数は7の倍数、もう一方の数は9の倍数でした。この二つの正の整数を求めなさい。